

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市戸畑区牧山海岸3-56

団体名 熱産ヒート株式会社

代表者 川口千恵子

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	ねっさんひーとかぶしきがいしゃ	
団体名	熱産ヒート株式会社	
(ふりがな)	だいひょうとりしまりやくしゃちょう かわぐちちえこ	
代表者氏名	代表取締役社長 川口千恵子	
所在地	市内事業所	北九州市戸畑区 牧山海岸3-56
	主たる事業所	
事業概要	・各種工業炉の設計 ・高周波誘導加熱装置の設計・製作 ・電熱製品の設計・製作 ・プラズマプロセス製品設計・製作 ・現地予熱・焼鈍装置設計・製作並びに工事	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	製造業	
従業員数（企業のみ）	6～20人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.nessan.co.jp/	
























連絡先

担当部署	営業部
担当者	榊原伸枝
電話番号	093-873-5039
メールアドレス	sakakihara@nessan.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み













SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
				7.2	9.4	13.3		ゴール	指標
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					2021年4月に「福岡県エネルギー相談事業」を活用し、専門家の視点から工場や事務所を調査いただき、使用電力を削減するための方策と取組みに関してアドバイス・提案を受領。その後、社内周知しつつできることから取り組んでいる。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					加熱装置を製造しているため、実験やテストなど一時的に消費電力が大きくなりがちである。そこで、使用できるピーク電力を設定し、かつ作業の標準化を管理業務に組み入れながら、消費電力の最小化、標準化に努めている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					事務所棟で使用している照明は全てLEDを採用した。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					5台所有している社用車について、より燃費効率のよいハイブリット車へ交換するべく、購入計画を経営計画と財務計画に組み込んだ。2025年にはハイブリット車に変換予定である。(車種が対応していない場合で、業務上必要な車は除く)	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					社用車のエコドライブを推進するために、①毎月のガソリン使用量を可視化②社内研修の実施、を通じて社員にガソリン使用量を低減する啓発を実施している。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					自社電力を再生可能エネルギーに転換するための工程表を作成。複数の再生エネプロバイダーから見積りを取得し検討中である。【2022年度導入予定】	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	環境(1)①
								ターゲット	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					紙、ダンボール、空き缶、ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底を行っている。	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	具体的な取組
								ターゲット	環境(2)ウ
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					製品等輸送が伴う材料等は、代替可能なものを除き、できる限り市内事業者を優先して調達している。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)	大規模展示会等出店支援事業				少ない電力でより効率の良い発熱が確保できる仕組みや部品の開発を行っている。工場内に研究室を設置し、3Dプリンターを活用しながら、迅速に研究開発が可能な体制を整備している。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	具体的な取組
								ターゲット	経済(1)オ
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)	大規模展示会等出店支援事業				3S活動の成果を活かし、従業員の安全性と作業効率化を担保できる工場内のレイアウトに変更した。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	経済(2)①
								ターゲット	具体的な取組

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)	北九州エコプレミアム選定制度				発熱時に二酸化炭素の排出をより少なくする予熱・焼鈍装置や工業炉の製造を行うことで、取引先(工事発注元)企業の二酸化炭素排出低減に貢献している。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
				9.4					
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)	北九州エコプレミアム選定制度				SiCなどの部品を小ロットで生産できる技術(3DP)を確立することで、製品の余剰をできるだけ発生させないように努めている。このことにより、原材料の過剰使用の防止に努めている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
				12.2				環境(2)ア	
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					「サービス残業しない宣言」を行った。また、社員同士で声を掛け合う風土づくりを推進し、年間の総労働時間の減少に努めている。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	
								ターゲット	具体的な取組
				8.5				社会(1)イ	
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					現地熱処理等の工事はこれまで長時間の監視が要求されていたことで、長時間労働の原因となっていた。リモート監視システムを導入し、作業員の労働時間減少にチャレンジしている。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	
								ターゲット	具体的な取組
				8.5				社会(1)イ	
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					代表自身が女性ということで、女性が働きやすく活躍できる環境づくりを推進している。現在は、女性技術者の採用も果たすことができ、今後更なる充実に努めていく。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会(1)②
								ターゲット	具体的な取組
				5.5					
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					ハラスメントについての社内研修の実施している。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(1)②
								ターゲット	具体的な取組
				8.8					
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					事務所は完全禁煙としている。工場は喫煙場所を屋外の1か所に限定する分煙化を実施している。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	
								ターゲット	具体的な取組
				3.4				社会(3)ウ	
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					定期的な健康診断の実施。その後、産業医及び保健婦に来ていただき社員全員が問診を受けており、健康相談などがしやすい環境を整備している。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会(3)①
								ターゲット	具体的な取組
				3.7					
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					定期的な勉強会として「熟産フューチャーラーニング」を毎月実施。SDGsに関する知識を学ぶ機会を設定したり、社会情勢に関する読書を行う「未来読書」や、将来仕事上で必要になると考えられる、クリティカルシンキングやファシリテーションスキルなどを実践的に学んでいる。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	
								ターゲット	具体的な取組
				4.7				社会(4)ア	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					地元中間支援企業と協力して「ジョブアトラクション」を受け入れている。休職中の若年層を会社に招き、一連の業務を体験してもらったり、社長や社員と対話する場を設けている。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	経済(2)②
								ターゲット	具体的な取組
				4.4					
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					地元大学からインターンシップ生を例年積極的に受け入れている。大学生に製造業の楽しみや醍醐味を伝えるだけでなく、技術系の学生にはテクニカルな技術を教えることもある。また、インターン生の受け入れは、同社社員の成長にも大きく寄与している。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	経済(2)③
								ターゲット	具体的な取組
				4.4					

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					代表の川口は、地元大学や大学院での講義を積極的に行っている。当社の業種がメジャーではなく分かりにくいのが、社会インフラ構築には欠かせない業種であることや、地球環境に直接的に貢献できる業種であることなどを学生に話している。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	
								ターゲット	具体的な取組
				4.4				4.4	経済(2)ア
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止等法令を遵守する体制を整備している	社会					個人情報保護規定を作成し従業員に周知徹底している。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
				11.b				12.6	経済(4)ア
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					代表と指名された数名の社員とで、これまで自社とSDGsの関係性の整理を行った。また、現在ステークホルダーのニーズ調査を行いながら、自社のマテリアリティを選定、KPI/KGIを設定し「熱産フューチャープラン(仮称)」を策定するプロジェクトを進捗中である。【2022年3月完成予定】	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
				11.b				12.6	経済(4)ア
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					2020年9月4日付けで事業継続力強化計画に関わる認定を受け、計画に基づき災害時の対応に備えている。また、全従業員に簡易型の防災グッズと飲料水を確保し万が一の備えを強化している。【実施時期：2020年9月～2023年8月】	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール11	
								ターゲット	具体的な取組
				11.b				11.b	社会(2)ア

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月30日

団体名 熱産ヒート株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

当社は、「熱」を事業ドメインとしており、熱のエキスパート企業として地球・社会の持続可能性を追求します。熱エネルギーに関する技術開発を進め、地球温暖化防止に貢献します。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	自社事業活動から生じる二酸化炭素排出量削減(Scope1,2、2019年比)	指標 (KPI)	CO ₂ 排出量	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		(その他の場合) ()年	50%	
経済	○	webによる技術教育コンテンツの提供	指標 (KPI)	コンテンツ提供数	指標
社会			目標値		具体的な取組
環境	○		(その他の場合) ()年	50コンテンツ	
経済		従業員のWell-Bingを追求する経営	指標 (KPI)	「この会社でずっと働きたい」社員の割合	指標
社会	○		目標値		具体的な取組
環境			(その他の場合) ()年	100%	

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 熱産ヒート株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
3 【SDGsクラブプロジェクト】 紙の循環から始める地域共創プロジェクト	紙の使用量を削減することは必須であり、数年前から使用量を可視化し、使用量の削減に取り組んできた。今後は更にその取り組みを一步進め、「KAMIKURU」と連携し、廃棄する紙を同プロジェクトに提供することで社会全体の紙の使用量の削減に貢献したい。
7 北九州イクボス同盟	従業員の働きやすさを更に追求するために「北九州イクボス同盟」に加盟し、研修等を通じて育休取得の促進等を積極的に行っていきたい。
15 エコドラ北九州プロジェクト	社用車のガソリン使用量を低減する取り組みを進めているが、「エコドラ北九州プロジェクト」に加盟することで、そのテクニックや考え方を学び、更なるエコドライブの推進を社員に浸透させる。
99 その他（市と連携した取組み）	北九州「北九州革新的価値創造研究会：通称カチケン」コラボ授業の実施。カチケンは北九州の知的資産を総括用し、人材育成エコシステム形成をするための研究会である。本研究会で北九州市立大学との『コラボ授業』を実施した。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。